

あ が っ て た ん せ

100歳を迎えました (*^_^*)

5月で100歳を迎えられたAさん。

Aさんは意識されていたのか朝から凜とされ、とても良い表情をされていました。市長さんも来られ、駆けつけて下さったご家族を一人一人確認されるかのように見つめられ握手をされていました。沢山の花束をいただき、市長さんからの表彰の時には笑顔で手を叩き喜ばれていました。当日は職員が化粧や着付けをさせて頂き、入居者の皆さんとは

前々から当日の献立の相談や飾りの準備を行い、100歳の誕生日を皆さんでとても楽しみにしていました。

ひだまりの家で100歳を迎えられたのはこれで3人目となります。(入居中の方は2名)入居者の皆さんと一緒に笑ったり、時には泣いたり…私達も同じ時間を共に生きているので、これからも人生の先輩としてたくさんの事を教えていただき、そしてますますお元気で過ごしていただきたいと思います。



重症化しやすく危険な 熱中症! とその予防策

熱中症とは、昔から日射病と言われていた症状のことです。熱中症はいくつかの症状が重なって短い時間で危険な状態に陥りやすいものなのです!!そこでここではいくつか予防策を挙げてみたいと思います。

★予防策★

- ①活動前に内臓の負担にならない程度の水分を取る。
- ②汗をかいた後は塩分と糖分の取れる飲物(スポーツドリンクなどが好ましい)で水分補給を!!
- ③活動中は休息を取りながら行う。
- ④活動の前日は十分に睡眠を取る。
- ⑤日射を避け、風通しの良い服装・環境で行う。
- ⑥午前中では10時頃、午後では13時~15時は外での活動を避ける。



高齢者は、体温調節機能が衰えたり、いくつかの疾患を抱えていたりするため熱中症を起こしやすい状況にあります。予防策を行って、これからの暑い夏を乗り切りましょう!!!



馴染みの友人へ会いに…

①Kさんが若かった頃

旦那さんを早くに亡くし、1人で娘さん2人を育てていました。仕事を通して、Iさんと出会い、休日などは一緒に温泉に出掛けられていました。

③初めの対応

ホームの中でも、昔の仕事のことや、友人のことを楽しそうに話しておりました。Mさんは、友人のIさんに会いに行きたいと話されてもなかなか会いに行く機会がありませんでした。

⑤行ってみて…

会いに行く車中では、楽しみにされており職員に働いていた頃の話をしてくださいました。Iさんのいる施設につくと、Iさんが玄関まで出迎えて下さり、とても嬉しそうにされていました。部屋に案内されると、昔のことを思い出しながら色々話され、時間が過ぎるのを忘れていたようでした。帰り際には、「また来て下さい。」と声をかけられて、「またくるからな。」と満面の笑顔で握手をされていました。帰って来てからも思い出すように職員に「楽しかった、連れてきてくれてありがとう。」と話されていました。

“認知症”と一言で言っても、一人一人様々な障害や症状を抱えています。そのため、お世話をさせて頂く側もその方をよく理解し、その方に合ったケアを常に考え実践していく必要があります。今回ここでは、ひだまりの家に入居されている女性Mさんとの関わりや私達の取り組みをご紹介します。

②認知症を患ってから…

●若いときよりも、外に出掛ける機会が少なくなり、また、Iさんに会いに行くための交通手段がなくなったため、会いに行けなくなってしまいました。

④アプローチ内容

OOにある施設に友人のIさんがいるとの家族の方から情報をいただきました。さっそくMさんにそのことを話すと「会いに行きたいなあ」と笑顔で話された為、連絡をとり会いに行きました。

バーベキューを行いました

家族の方々と一緒に外でスイカやとうもろこし、焼肉を食べて楽しみました。いつもはあまり食べない入居者の方も、一味違う外での食事は「美味しい。」と進んで食べられておりました。



ボランティアに 来てみませんか?

ひだまりの家ではボランティアに来てくれるかたを募集します。(簡単な畑作業や家事仕事など) お気軽にご連絡下さい。 代表： 桧山

発行・編集／認知症対応型共同生活介護

グループホーム ひだまりの家

広報委員会 (佐々木・藤井)

〒019-0703

秋田県横手市増田町吉野字梨木塚 101-1

TEL 0182 (55) 1414

FAX 0182 (45) 5577